

ACE、米国大学の国際化とテニユア・昇進方針に関する調査報告書を発表（11月10日）

米国教育審議会（American Council on Education : ACE）は、米国大学の国際化とテニユア及び昇進方針に関する調査報告書「テニユア規約の国際化 ～世界に重点を置いた教員を奨励する方針～（Internationalizing the Tenure Code : Policies to Promote a Globally Focused Faculty）」を発表した。大学の国際化においては、教員が重要な役割を果たすことになるが、ACEが2011年に実施した調査「米国大学における国際化のマッピング（Mapping Internationalization on U.S. Campuses）」では、テニユア・昇進に関する方針において国際化に重点を置いた評価基準が含まれている大学は、全体の8%に過ぎないことが明らかにされていた。今回実施された調査では、ACEの国際化・国際関与センター（Center for Internationalization and Global Engagement）が大学91校におけるテニユア方針を分析しており、主要な調査結果は以下の通りとなっている。

- ・国際化に重点を置いた一般的な基準は研究・サービスに関連するもの。
- ・多くのテニユア方針では、教員が専門分野において国内外から高い評価を受けることを期待しているが、このような評価に関する指標は通常明らかにされず。
- ・テニユア方針の国際化における成功例の主要な要因は、学内での準備の整備、アウトリーチとステークホルダーの関与、評価基準と大学の国際化目標との調整など。

なお、本報告書は、

<<http://www.acenet.edu/news-room/Documents/Internationalizing-the-Tenure-Code-Policies-to-Promote-a-Globally-Focused-Faculty.pdf>>からダウンロード可能。

American Council on Education, Internationalizing the Tenure Code: Policies to Promote a Globally Focused Faculty  
<http://www.acenet.edu/news-room/Pages/Internationalizing-the-Tenure-Code-Policies-to-Promote-a-Globally-Focused-Faculty.aspx>